

おんが

町制 10 周年記念

1974 / 町勢要覧

おんが

町制 10 周年記念
1974 / 町勢要覧

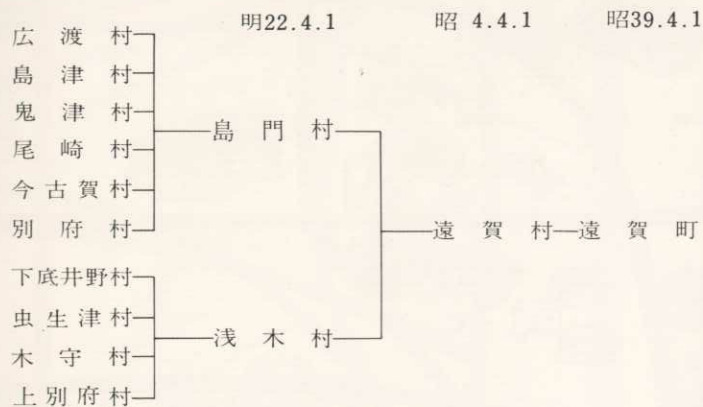
遠賀町

心のふるさと。緑の遠賀町



ゆたかな自然とともに

●遠賀町のなりたち



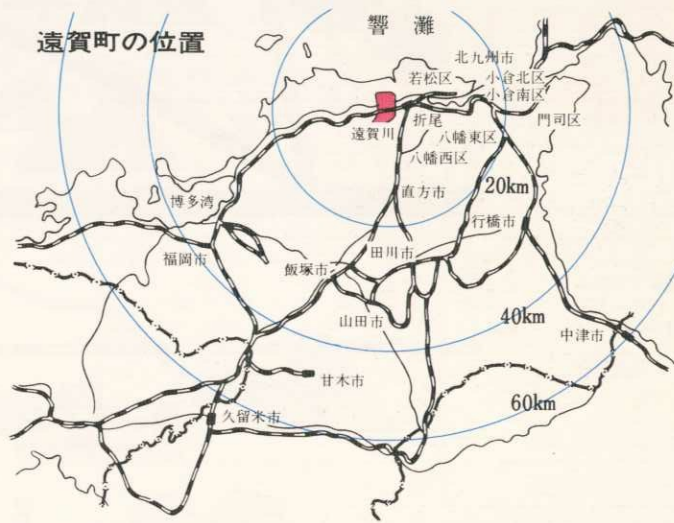
●位置

遠賀町は、英彦山に源をもつ遠賀川左岸に沿った平坦地であり、東西5km、南北9kmの長方形で総面積は、22.41km²の町であります。

地理的には、東へ北九州市8km、西へ福岡市45kmの距離にあり、町内の中央部を国道3号線及び鹿児島本線が東西に走り、福岡～北九州両都市の中間地帯に位し、交通の要衝として脚光を浴びております。

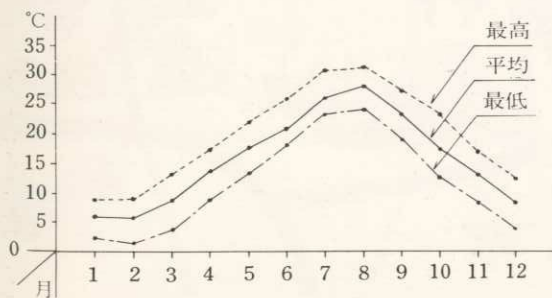
●地勢

遠賀川の沖積層によって形成された遠賀平野の中心部で、町域の70%は平坦部に属しています。また、西端部を南北に連なる遠賀山系（主峰207m）を分水嶺として、白水川、尾倉川、戸切川、および前川の各河川が東へ流下し、西川と合流して、芦屋町域で遠賀川に注いでおります。

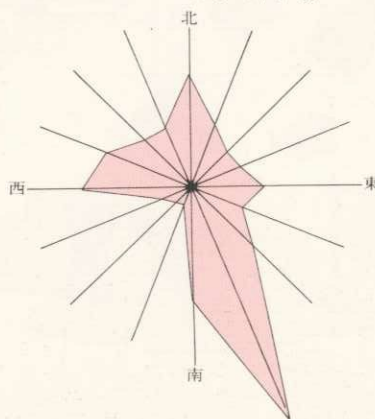


●気象

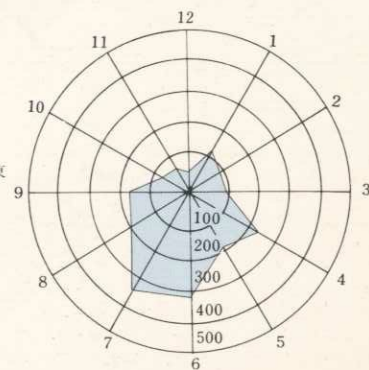
気温（最近8ヶ年）



風向図（年平均）



月別雨量図（単位:mm）



遠賀町の案内





●町内の主要施設

名 称	所 在 地	電 話
遠 賀 町 役 場	遠賀町今古賀	3～1234
遠 賀 町 公 民 館	" 遠賀川	3～1238
遠 賀 静 光 園	" 上別府	3～0125
遠 賀 郡 消 防 組 合	" 広 渡	3～1231
遠 賀 中 間 共 同 火 葬 場	" 上別府	3～1840
老 人 憩 い の 家	" 別 府	3～0169
遠 賀 中 学 校	" 別 府	3～0043
島 門 小 学 校	" 鬼 津	3～0004
浅 木 小 学 校	" 浅 木	3～0009
遠 賀 農 芸 高 校	" 上別府	3～1225
遠 賀 中 央 幼 稚 園	" 別 府	3～0097
山 び こ 保 育 園	" 鬼 津	3～0210
南 部 保 育 園	" 木 守	3～0974
遠 賀 川 保 育 園	" 遠賀川	3～0184
遠 賀 川 駅	" "	3～0017
遠 賀 川 郵 便 局	" "	3～0042
遠 賀 町 商 工 会	" "	3～0165
遠 賀 郡 農 協	" "	3～0014
遠 賀 川 派 出 所	" "	3～0096
浅 木 駐 在 所	" 浅 木	
芦屋地区土地改良工事事務所	" 鬼 津	3～0075
遠 賀 信 用 金 庫	" 遠賀川	3～0164
遠 賀 川 青 果 市 場	" 別 府	3～0061
読 売 チ サ ン ゴ ル フ 場	" 虫生津	3～2411

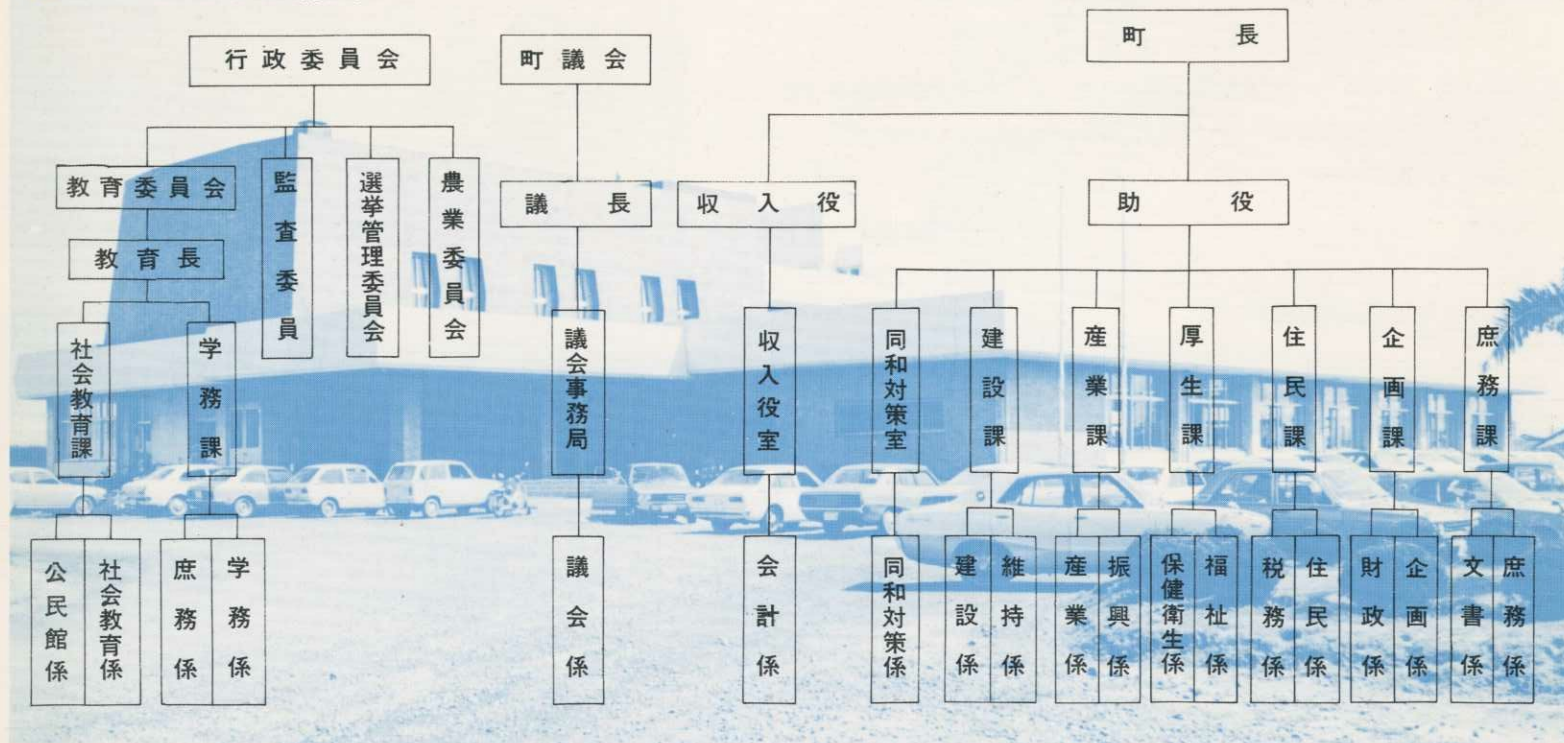
つねに新しい視点で



真の住民のための町政を実現すべく組織の拡充強化と、職員資質の向上を図り、住民との信頼関係の上になって執行体制の確立をはかっています。

人口の増加と、複雑化する社会構成のなかで、町行政のニーズも多岐にわたっております。これを、いかに効率的に行うかは、行政の手段にゆだねられています。

●遠賀町行政機構図



町役場全景

●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	有吉 曆太郎	昭和 4. 6. 7	昭和 5. 9.27
2	原田 房太郎	6. 1. 1	9.12.31
3	柴田 圓太	10. 1.28	14. 1.27
4	安部 伝次	14. 6.27	18. 6.26
5	加藤 猛雄	18.12.29	20. 6.19
6	名和 朴	20. 7.16	21.10.15
7	古野 繁樹	22. 4. 5	30. 4.30
8	有吉 茂也	30. 5. 1	38. 4.23
9	小川 登一郎	38. 5. 1	46. 4.13
10	柴田 貫蔵	46. 5.26	在任中



役場窓口

住民の声を映す町議会

住民の意志決定機関である町議会は、16人の議員で構成され、町政を執行するために必要な条例や予算を審議し、議決するため、毎年4回の定例議会が開かれるほか、臨時議会も必要に応じ開かれます。

議会には、総務財政、建設産業、厚生文教の各常任委員会のほか、必要に応じ特別委員会が設けられ、それぞれ議会から付託された議案、請願等の審査及び調査などを行っております。



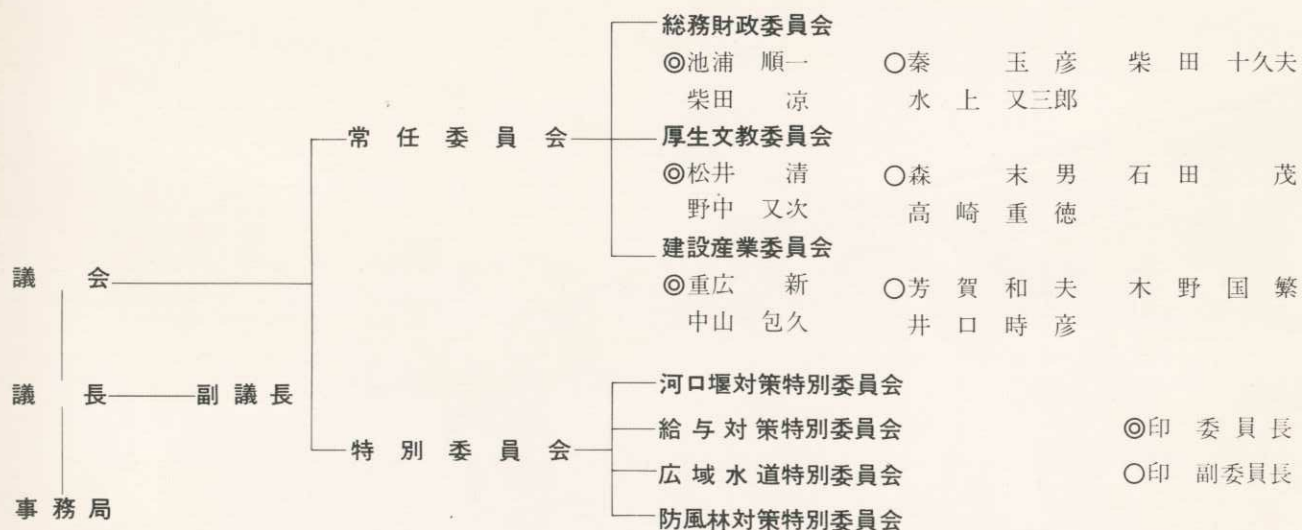
柴田副議長

高崎議長

本会議風景



● 議会のしくみ



● 歴代議長

歴代	氏 名	就任年月日	退任年月日
1	毛 利 盈	昭和22. 5. 1	昭和26. 4.29
2	井 口 強	26. 4.30	34. 4.30
3	仲 野 馨	34. 5. 1	38. 4.30
4	柴 田 貫 蔵	38. 5. 1	42. 4.20
5	中 山 包 久	42. 5. 1	48. 4.20
6	高 崎 重 徳	48. 4.20	在 任 中



河川堰対策特別委員会主催の公聴会



委員会風景

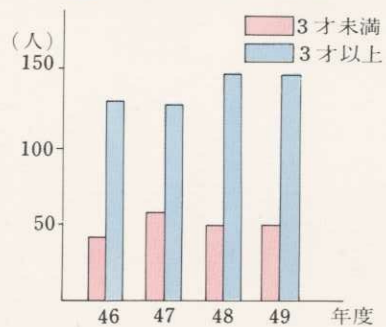
健やかに育ててほしい



児童福祉

心身共に健全な子供を育てる事は、町の重要な仕事の一つです。そのためには、児童手当の支給と、乳幼児医療の無料化を図り、また施設面については、幼児公園などの設置により少しでも環境を良くするよう努めています。

● 保育所措置児童数



遠賀中央幼稚園

みのりのおおい老後を

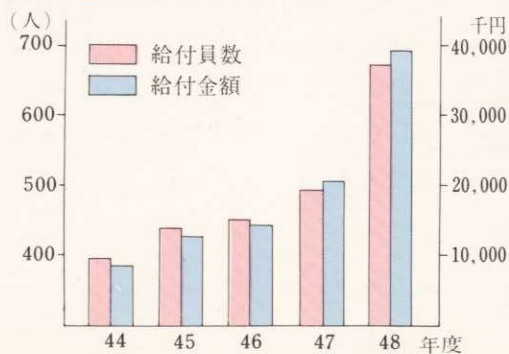


老人福祉

本町の70才以上の人口は、661人です。

お年寄が健康で明るい生きがいのある生活を送られることは、みんなの願いでもあります。そのためには、老人ホームや憩の家などの施設の整備はもちろんのこと、老人大学の開催、老人の健康管理や家庭奉仕員制度など、物心両面に亘る老人福祉対策を推進しています。

●福祉年金給付状況



老人憩の家

健康な日々のために



目の検査



身体検査



歯の検査

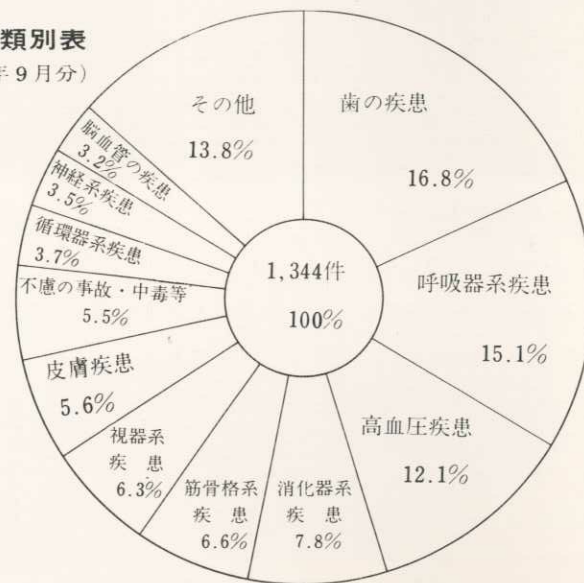
保健・衛生

健康であることは、わたくしたちの生活にとってかけがえのないことです。みんなの健康を守るため、いろいろな施策を進めておりますが、病気の子防と環境を改善することを目標として、予防面では、日本脳炎、種痘、インフルエンザの予防接種を行い、成人病の早期発見、早期治療のための措置をいたしております。

一方、清潔な環境を保つためには、ゴミ、し尿処理のほか、伝染病源となる蚊、ハエ、ネズミなどの駆除を行うと同時に、下水排水施設の整備が重要な課題となってきました。

● 疾病分類別表

(昭和48年9月分)



快適な生活への諸施設



ゴミ収集風景



ゴミ処理場



し尿処理場

広域行政

近隣の各市町が必要とする施設のなかで、広域的に共同処理することによって合理的運営が行われ、住民福祉に寄与しようとするもので、ゴミ処理、し尿処理、火葬場及び伝染病院等の各施設について、遠賀郡4町並びに中間市が一部事務組合を組織し、共同処理を行っております。

ゴミ焼却場 設置場所 芦屋町
 焼却能力 120t/日 (20t/8h×2基)
 附属施設 破砕機 50t/日
 敷地 12,820㎡

し尿処理場 設置場所 水巻町
 処理能力 180kl/日
 処理方式 消化方式
 敷地 11,550㎡

火葬場 設置場所 遠賀町
 焼却施設 焼却炉 6基
 (無臭、無煙装置) 汚物炉 1基
 敷地面積 23,644㎡



火葬場

北九州／福岡へ一直線

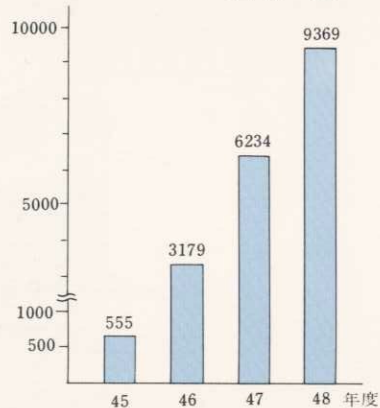


道 路

国道3号線と県道浜口～遠賀線及び県道宮田～遠賀線は、広域的幹線道路として、主要都市間との連結の上から重要性を増大しています。

本町の道路計画は、これら国県道を軸に、町内循環線の性格をもつ町道山手線と集落内の生活道路とが相互に連携を保つことを重点に、道路の新設、改良及び舗装事業を着実に進めています。

●町道舗装の進捗状況
(単位：m)



舗装風景

安心して歩ける街へ



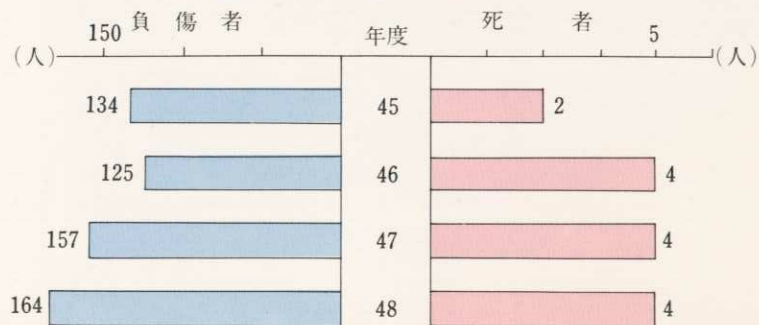
交通安全

交通事故をなくし、明るい社会を築くことはみんなの願いです。しかしながら、交通事故は年々増加する自動車の数と比例して増加の一途をたどっております。

安全で快適な生活を築くためには、町民総ぐるみとなり、一日でも早く交通事故のない明るい町づくりを願っております。

横断歩道、ガードレール、カーブミラーなどの施設整備はもとより、交通安全教育、交通共済制度などの対策をすすめています。

●年次別交通事故の推移



たゆまぬ努力で

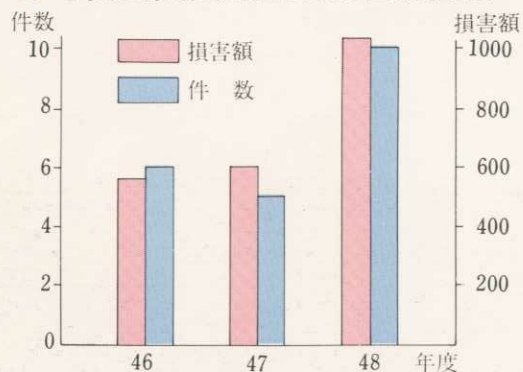
消防・防災

消防の広域化と組織の強化を図るため、遠賀郡消防署が設置され、また、近隣の市町間で消防相互応援協定を結び、消防団の協力のもとに町民の生命と財産の安全確保に努めております。

とくに最近は、都市化による住宅事情と相まって石油類の危険物取扱いの増大や、住宅の密集化、高層化など都市災害の危険性が加わり、化学消防車やはしご車などの必要性のもとに、その整備を強化いたしております。

また、救急業務、水防体制、主要河川の改修など、直接防災につながる事項については、関係機関との協調を図り、具現化につとめています。

● 年次別火災発生件数と損害額



町消防団訓練



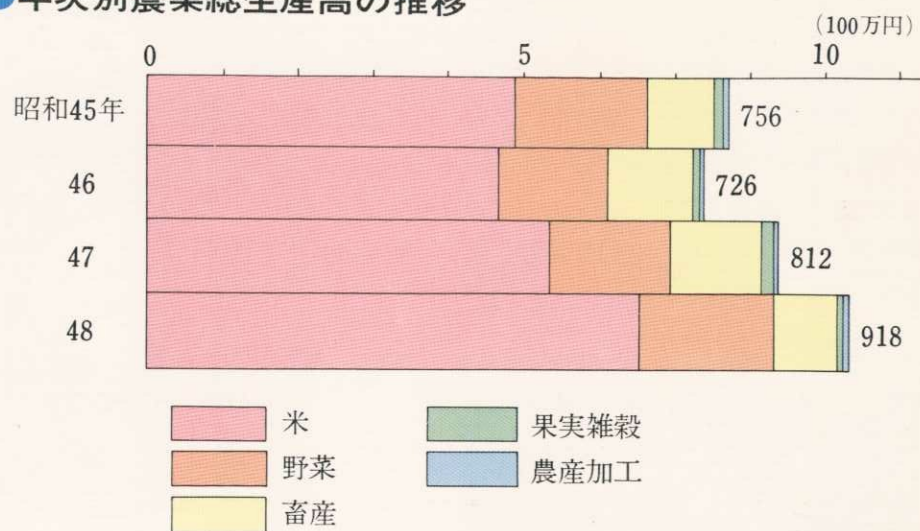
明日へひろがる産業

農業

遠賀町の農業は古くから肥沃な土地と豊かな水を背景に水田農業を中心に営農が行われてきましたが、近時、北九州都市圏としての結びつきのなかで、農業形態も多角化し、いまでは、そ菜、養鶏、観光果樹部門へと範囲を広げてまいりました。

一方、都市近郊の農業は、自然保持の意味から生産緑地として貴重な存在であり、農業振興地域の指定とあいまって近代化農業への要請が強調されています。

●年次別農業総生産高の推移



◀野菜づくり



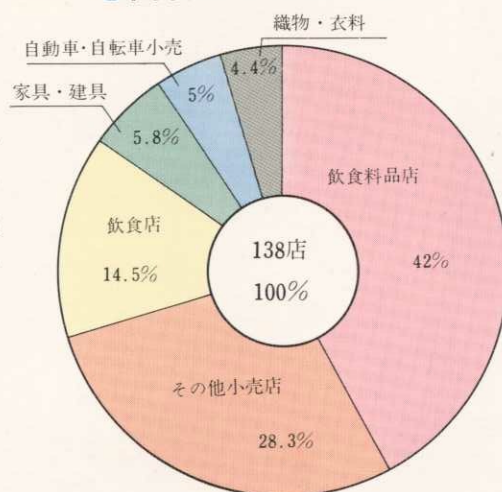
▶コンバインによる刈取風景

商業

商業については遠賀川商店街が地理的に主軸を占めております。

今後、着々と住宅団地化がすすむなかで住民へのサービスと利便を供給するためには、商店街の近代化、高度化が求められております。その一環として、遠賀町の将来計画にもとづく遠賀川駅前開発計画の準備をすすめております。

● 商店の業種別内訳



遠賀川商店街

買物風景



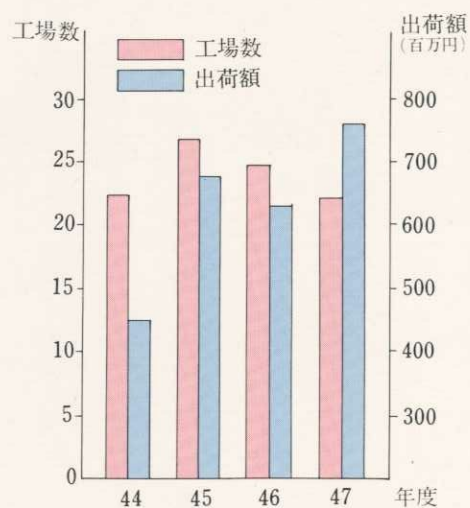
工業

石炭に代表される産炭地は、いま大きく変ぼうしています。

虫生津工業団地は豊富な工業用水（20,000m³/日）のもとに、一応企業の立地をすましておりますが、今後新しく別府、今古賀地区の準工業地域の指定によって工業の団地化をすすめています。

工業の立地にはそれぞれの条件がありますが、北九州工業地帯の外延部として立地的に恵まれ、道路条件及び従業員の通勤も便利であり、今後大きく、工業集積としての発展が期待されています。

●工場数と出荷額



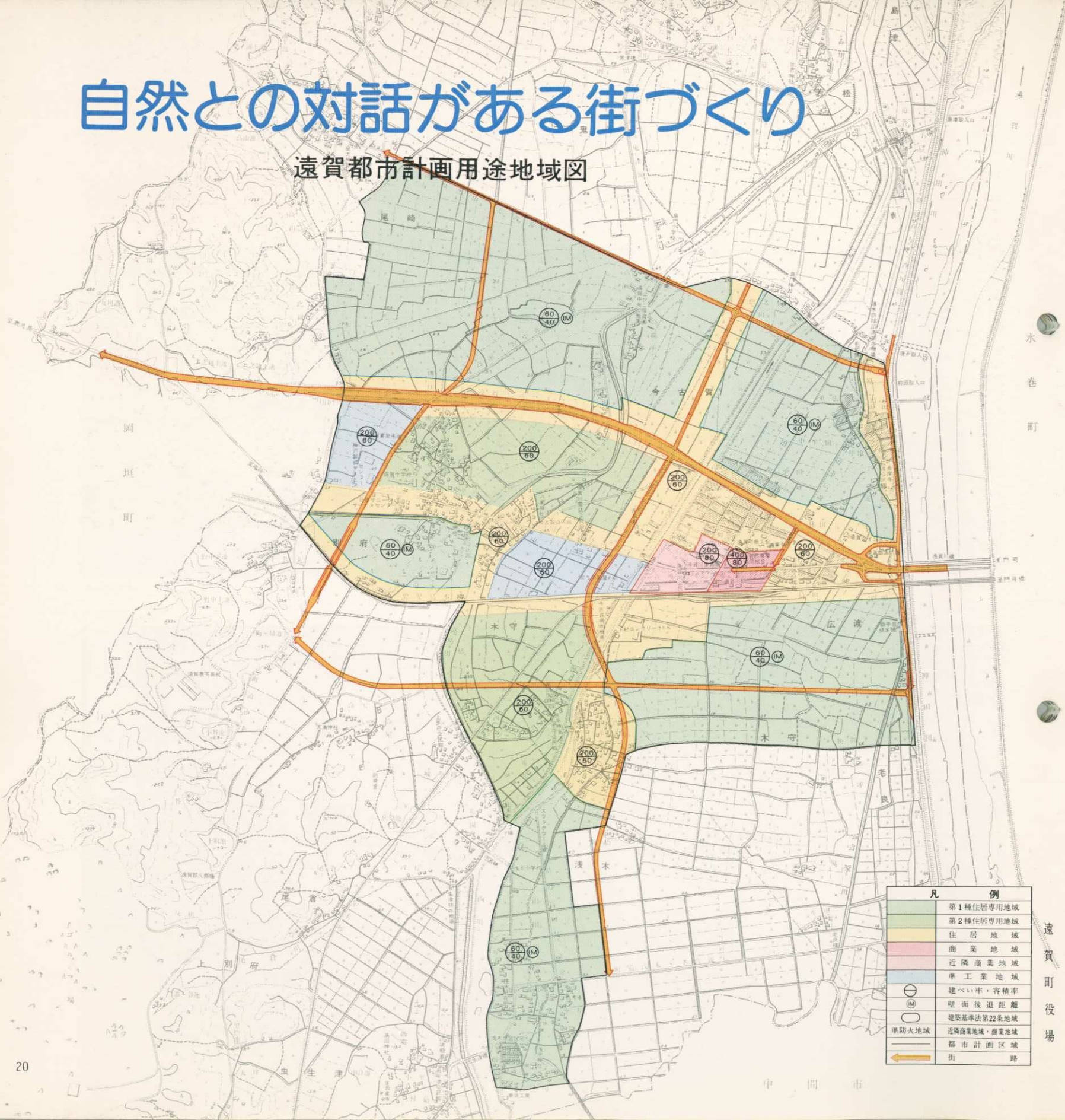
工場団地

工場作業風景



自然との対話がある街づくり

遠賀都市計画用途地域図



凡 例	
	第1種住居専用地域
	第2種住居専用地域
	住居地域
	商業地域
	近隣商業地域
	準工業地域
\ominus	建ぺい率・容積率
(M)	壁面後退距離
\bigcirc	建築基準法第22条地域
	近隣商業地域・商業地域
	都市計画区域
	街路

遠賀町役場



遠賀川駅前新町団地

都市計画

遠賀町の総合計画にもとづき、土地利用計画が明らかとなり、その一環として都市計画の用途地域が決まりました。

生活の快適性はみんなの願いですが、本町の「田園都市構想」の中核をなす住宅団地化計画は、緑と自然を調和しながら、いま計画から実施へと胎動いたしております。

●町内住宅団地計画

団地名	面積(ha)	対象戸数(戸)	人口(人)
松の本団地	37.0	900	3,400
広渡" (八手町)	6.3	150	600
別府" (高瀬)	3.7	100	400
浅木" (松ヶ崎)	12.3	420	1,600
虫生津" (丁ヶ坪)	7.7	210	950
" " (左山)	10.7	220	1,000
尾崎" (宮ノ沖)	41.4	1,200	4,800
" " (高山)	30.4	445	1,800



虫生津町営住宅

浅木団地造成工事



若い芽を大きく伸ばす



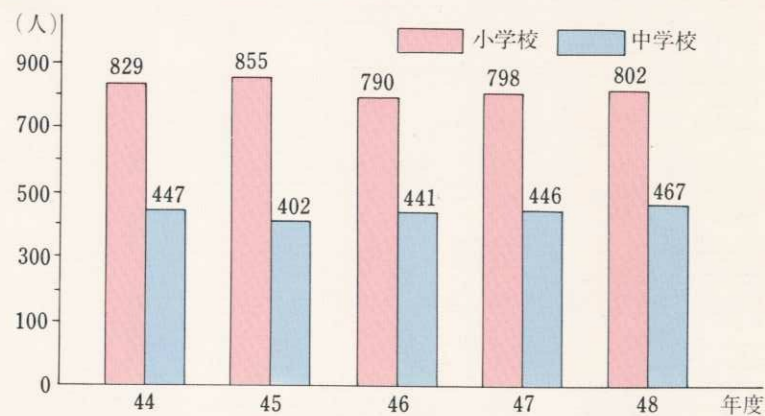
学校教育

町内の学校は小学校2、中学校1、高校1校のほか、幼稚園1園です。

学校教育は、児童生徒の学力の向上はもとより、一人一人の創造力の開発と健全な体力の養成に努めるほか道徳教育にも力を入れ、次代をになう情操豊かな人間形成の場として教育を推進しています。

また、学校施設については、人口増に伴う進学児童の増加により、小学校の新設を計画いたしておりますが、それに付随して校区の編成も検討をすすめております。

●小中学校の児童・生徒数



島門小学校



浅木小学校



遠賀中学校



県立遠賀農芸高校

心のふれあいのなかで

社会教育

町では、人間性豊かな文化都市を目指して、調和のとれた地域社会の建設と、町民全体を含めた生涯教育としての社会教育を推進するために、各種の学級、講座などを開いており、また、外かく団体との協調のもとに各施設の整備を図り、生涯教育の充実に努めています。

来年度は、中央公民館を新設し、時代の要請にマッチした総合的社会教育の場としての活用が期待されます。



島津公民館



生花教室



中央公民館完成予想図



洋裁教室

さわやかな汗がひかる

最近の住民生活は、運動不足の時代とも言われているように、日常の生活をみても、交通機関の発達などにより、昔とくらべて歩くことが非常に少なくなりました。

こうしたことからみても、住民生活とスポーツは一体のものであり、常に、自らの手で健康と体力作りの必要性が強調されます。

現在、すでに、スポーツ少年団（5部門160名）、同好会（4団体120名）が結成されておりますが、今後こうした自主的な会が大きな輪となって、スポーツの興隆に大きな役割を果たしており、一方では、コミュニティの形成に一役買っております。



町民体育祭



壮年ソフトボール大会



ママさんバレー大会



体カテスト

活動的な都市機能

遠賀川駅

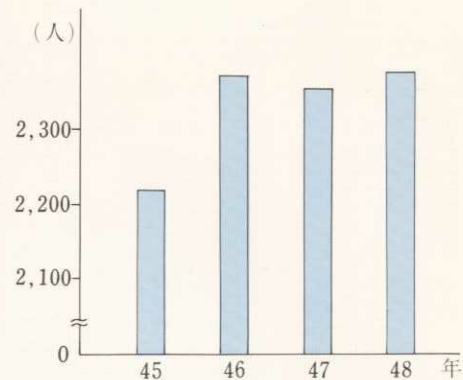
町の玄関口である国鉄遠賀川駅は、明治40年に開設されて以来、約70年、町民の足場として貢献してきました。

現在、1日の乗降客数は2,373人となっておりますが、北九州百万都市の住宅都市として急変しつつある本町においては、将来、当駅への利用は一段と増加することが予想されます。



町の玄関口・遠賀川駅

●遠賀川駅利用状況（一日平均）



郵便局

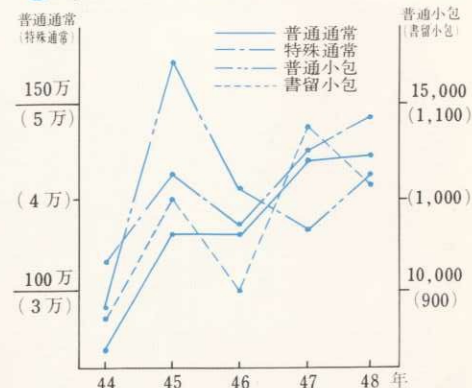
新装なった遠賀川郵便局は、郵便業務の増大に対し、最新設備と職員の献身的努力により、事務が効率的にすすめられています。

最近5ヶ年の取扱い量（昭和44年対比）においては全般的に上昇し、特に、普通郵便物は159%の伸び率を示しています。



新装なった遠賀川郵便局

●郵便物の集配状況



電話

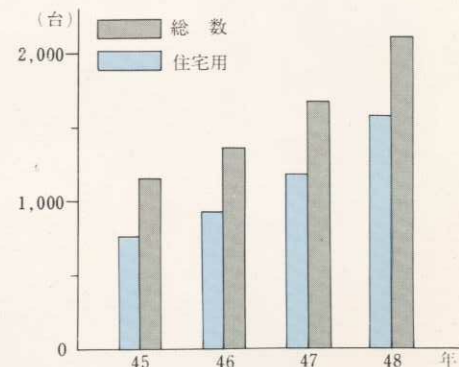
情報伝達のホープとしての電話への需要は大きなものがあります。

現在、電話の普及率は81%となっておりますが、今古賀地区に設置された自動交換局は、威力を発揮し、今後の開発に伴う電話の需要に対し、大いにこたえてくれるでしょう。



今古賀自動電話交換局

●電話加入者数



ふるさとの流れ—遠賀川—

そうなのだ

おのれの川のだ筋さえ

知れぬものに

どうして祖国がうたえよう

—「京浜の虹」より—

遠賀川は、馬見山（978m）から流れ出て、途中幾多の河川を合わせながら芦屋町で響灘に注ぐ県下で二番目の河川であり、その流路延長は64km、総流域面積は1,032km²であります。

藩制時代、遠賀川の治水、利水にあたっては、わたくしたちの先祖が英彦山まで植林に出役し、かんがい用水として引水に多大の犠牲と苦勞をもって今日1,000haに及ぶかんがい水利権を既得し、遠賀川は「母なる川」として遠賀町民と共に営々と生きつづけてきたのであります。

明治29年、官営八幡製鉄所（新日鉄八幡製鉄所）の創業にあたっては、その工業用水の大部分を遠賀川から取水し、現在、186千m³/日、北九州市へ563千m³/日など近隣市町の給水源として、多大の恩恵を与えております。



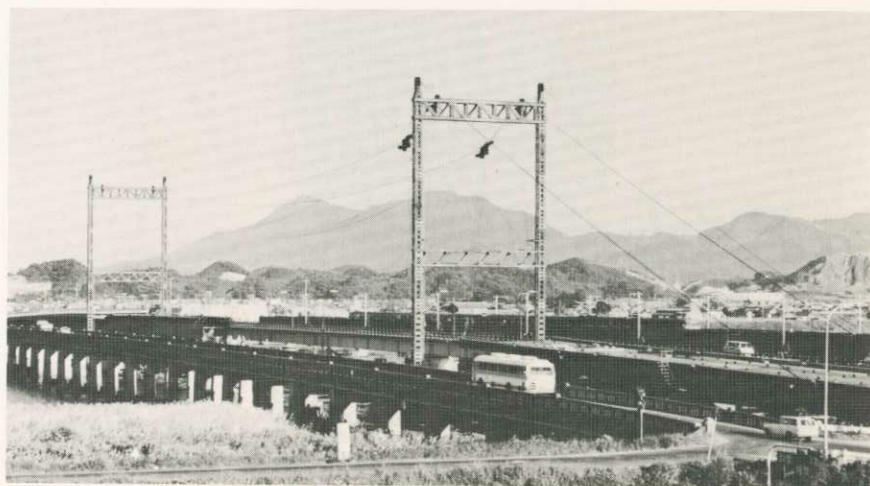
水量豊かな遠賀川



遠賀川を上る往時の五平太船



遠賀川の入江にはむかしの面影が残る。



遠賀川をまたぐ北九州—福岡間の動脈

文化財

本町の上古時代は、いわゆる「遠賀潟」と称する入江をなし、米がなかった縄文時代には貝を常食とし、その残滓が積り、塚となり各地に貝塚として発見されております。

縄文時代から弥生時代に変り、大陸文化の交流をうけ、農耕文化の基盤が培われ、集落形成がおこなわれたのでありますが、町内各地に文化遺産として、遺跡、古墳及び土器の発掘をみております。



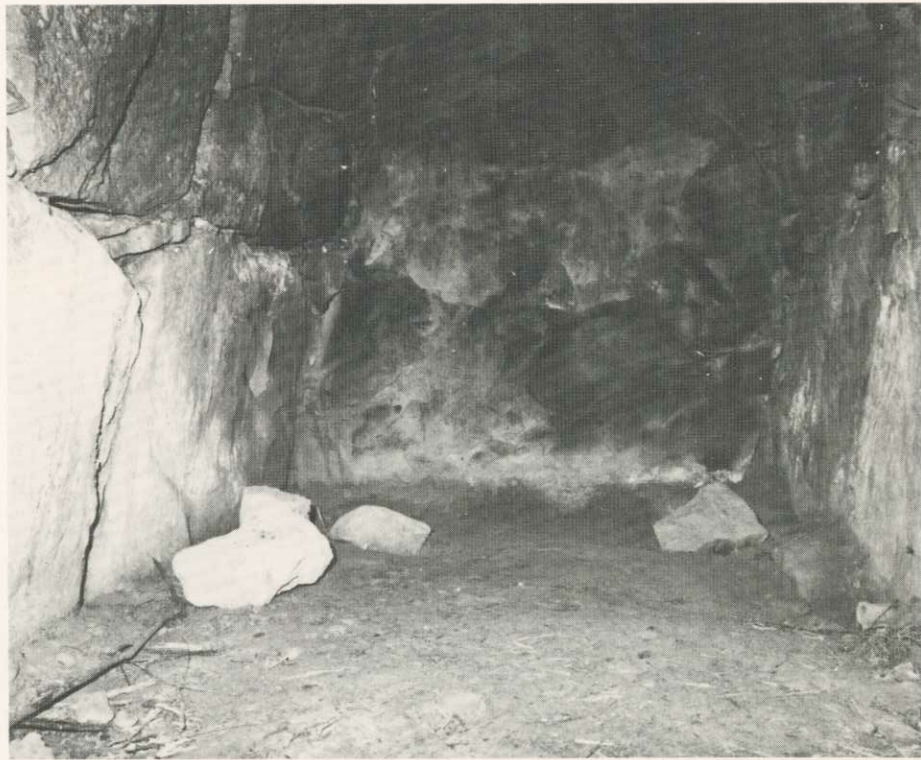
鬼津 常楽寺出土品 水提つぼ (須恵器)



島津支石墓



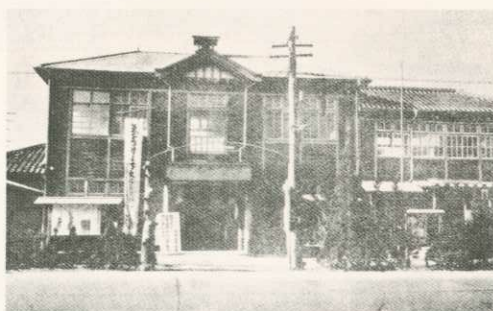
虫生津 高田住居跡出土品 高坏脚(弥生式)



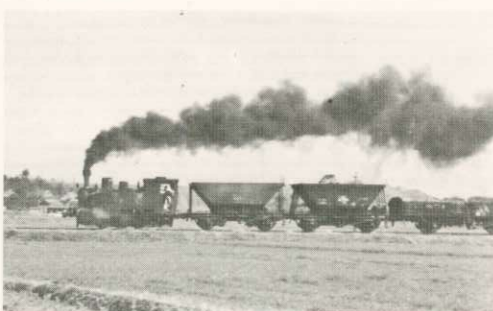
虫生津 新屋敷古墳内部

町政のあゆみ

- 昭和4年4月 浅木村、島門村合併し、遠賀村誕生する
- " 5年 神田川農業用水開通
- " 6年 国道3号線開通
- " 6年6月 遠賀村庁舎落成



- 昭和9年6月 大旱魃あり、寿命堰ネコ掛け及び塩田堰築堤
- " 10年 金丸鉱業、虫生津地区にて開鉱
- " 22年3月 国鉄芦屋線開通(占領軍専用)



- 昭和22年4月 学制改革による遠賀中学校開校
- " 28年6月 西日本大水害、遠賀川(植木)堤防決潰
- " 30年3月 国道3号線遠賀川大橋(下り線)完成
- " 35年8月 養老施設「遠賀静光園」開設
- " 36年6月 国鉄芦屋線廃止
- " " 7月 第1回航空防除実施(対象面積800ha)



- 昭和37年2月 三菱鉱業(株)鞍手坑閉山
- " " 11月 村道「山手線」道路改良事業開始
- " 39年3月 鞍手町、遠賀町水道組合発足



遠賀町制施行から

- 昭和39年4月 町制施行
- " " " 国土調査事業開始
- " " " 遠賀郡農業協同組合発足
- " " 8月 遠賀町戦没者慰霊塔落成



- 昭和40年 3月 島門小学校校舎（改築）落成
- " 41年 2月 農村集団電話開通（317戸）
- " " 3月 有線放送施設完成（島津他9地区）
- " " " 町北部（島津、若松、鬼津、尾崎地区）水道布設事業開始
- " 42年 4月 遠賀中学校校舎（改築）落成
- " " 12月 島門小学校講堂落成
- " 43年 3月 町北部水道開始（尾崎、鬼津）
- " " " 西川湛水防除事業広渡排水機場完成



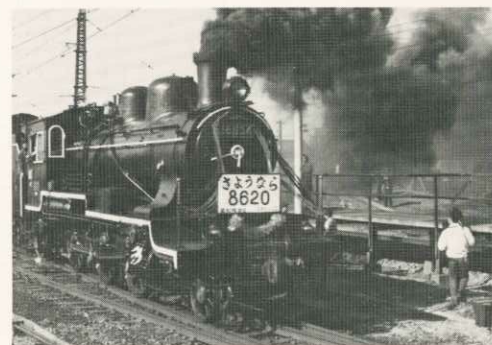
昭和47年11月 献穀米上納（畑生半一氏）



- 昭和44年 3月 浅木小学校校舎（改築）落成
- " " 4月 町道山手線舗装事業開始
- " 45年10月 遠賀中学校講堂（改築）落成
- " 46年 3月 鬼津地区学習等供用施設（公民館）落成
- " " 4月 遠賀農芸高等学校上別府地区に移転、授業開始
- " " 5月 国道3号線遠賀バイパス建設開始
- " " " 遠賀町水道事業中間市水道に併合
- " " 6月 遠賀郡農協本所庁舎落成



- 昭和48年 5月 浅木小学校プール完成
- " " 6月 虫生津排水ポンプ完成
- " " " 一市四ヶ町火葬場（天生園）完成
- " 49年 1月 国鉄室木線専用機関車SL姿消す



- 昭和46年 6月 上別府花園ポンプ（移設）完成
- " 47年 3月 尾崎地区学習等供用施設（公民館）落成
- " " " 県道宮田～遠賀線立体交差完成
- " " 5月 遠賀町庁舎（移築）落成
- " " " 遠賀郡消防署落成

- 昭和49年 5月 遠賀川郵便局（移築）落成
- " " " 老人憩の家落成
- " " 6月 鞍手町、遠賀町水道組合解散、中間市水道に移管
- " " 12月 国道3号線遠賀バイパス片側二車線開通予定

資料編

統計からみた町民の暮らし

<p>人口密度</p>  <p>1haあたり 4.4人</p>	<p>人口</p>  <p>1世帯あたり 3.8人</p>	<p>出生</p>  <p>1日に0.39人</p>	<p>死亡</p>  <p>1日に0.22人</p>	<p>転入</p>  <p>1日に2.62人</p>
<p>転出</p>  <p>1日に2.23人</p>	<p>結婚</p>  <p>1.35日に1組</p>	<p>離婚</p>  <p>10.73日に1件</p>	<p>町議会議員</p>  <p>町民619人に1人 有権者447人に1人</p>	<p>町職員</p>  <p>町民138人に1人</p>
<p>教員(小中学校)</p>  <p>小学校 児童28.6人に1人 中学校 生徒21.2人に1人</p>	<p>医師</p>  <p>町民1,982人に1人</p>	<p>交通事故</p>  <p>3.65日に1件</p>	<p>救急出動</p>  <p>2.17日に1件</p>	<p>火災</p>  <p>36.5日に1件</p>
<p>消防団員</p>  <p>町民82.6人に1人</p>	<p>電話</p>  <p>1.5世帯に1台</p>	<p>郵便物</p>  <p>1ヶ月1世帯に47通</p>	<p>自動車</p>  <p>7.92人に1台</p>	<p>二輪車</p>  <p>14.79人に1台</p>
<p>水道</p>  <p>1ヶ月1世帯あたり 250m³</p>	<p>テレビ</p>  <p>1.25世帯に1台</p>	<p>警察官</p>  <p>町民2,471人に1人</p>	<p>町予算</p>  <p>町民1人当り 89,982円</p>	<p>町税</p>  <p>町民1人当り 14,209円</p>

財 政

歳 入(一般会計決算額)

(単位 千円)

区 分	昭和44年度		昭和45年度		昭和46年度		昭和47年度		昭和48年度	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比
町 税	70,926	21.6	79,771	19.8	89,223	12.6	112,207	14.9	141,376	16.2
地 方 譲 与 税							3,931	0.5	4,109	0.5
自動車取得税交付金	5,111	1.6	5,604	1.4	6,326	0.9	7,214	1.0	8,762	1.0
地 方 交 付 金	118,816	36.3	145,891	36.0	185,091	26.2	215,949	28.8	266,318	30.5
交通安全特別交付金	304	0.1	174		228		716	0.1	909	0.1
分 担 金 及 負 担 金	5,178	1.6	11,562	2.8	16,425	2.3	10,826	1.4	35,475	4.1
使 用 料 及 手 数 料	1,951	0.6	1,760	0.4	1,829	0.3	2,219	0.3	2,236	0.3
国 庫 支 出 金	63,043	19.2	84,866	20.9	81,849	11.5	103,087	13.7	144,743	16.6
県 支 出 金	15,720	4.8	7,015	1.7	10,243	1.4	32,573	4.3	22,917	2.6
財 産 収 入	2,333	0.7	10,989	2.7	5,943	0.8	133,643	17.8	9,710	1.1
寄 附 金	40		100				571	0.1	2,043	0.2
繰 入 金					73,406	10.3				
繰 越 金	12,265	3.7	18,182	4.5	20,401	2.9	52,140	6.9	77,746	8.9
諸 収 入	23,685	7.2	24,198	6.0	50,356	7.1	44,439	5.9	93,818	10.7
町 債	8,800	2.7	15,700	3.8	167,900	23.7	32,700	4.3	59,300	6.8
									3,353	0.4
合 計	328,178	100.0	405,812	100.0	710,060	100.0	752,215	100.0	872,815	100.0

歳 出(一般会計決算額)

(単位 千円)

区 分	昭和44年度		昭和45年度		昭和46年度		昭和47年度		昭和48年度	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比
議 会 費	13,619	4.4	16,639	4.3	16,953	2.6	19,223	2.8	25,265	3.2
総 務 費	83,552	27.0	82,512	21.4	362,929	55.2	155,462	38.6	123,983	15.5
民 生 費	26,224	8.5	32,123	8.3	36,310	5.5	10,006	9.9	141,775	17.7
衛 生 費	10,753	3.5	9,791	2.5	23,421	3.6	23,756	3.5	49,863	6.2
労 働 費	32,063	10.3	39,634	10.3	40,868	6.2	41,444	2.4	46,959	5.9
農 林 水 産 業 費	26,495	8.5	36,307	9.4	27,711	4.2	27,520	4.1	50,465	6.3
商 工 費	1,506	0.5	702	0.2	822	0.1	869	0.1	11,282	1.4
土 木 費	40,452	13.0	74,069	19.2	56,294	8.6	162,143	18.8	185,981	23.3
消 防 費	3,739	1.2	4,178	1.1	20,270	3.1	22,050	3.3	23,708	3.0
教 育 費	46,079	14.9	77,324	20.1	47,682	7.2	109,642	10.3	115,066	14.4
災 害 復 旧 費	13,447	4.3	329	0.1	12,575	1.9	15,836	1.7		
公 債 費	10,520	3.4	11,803	3.1	12,085	1.8	23,267	4.0	24,443	3.1
諸 支 出 金	1,546	0.5					3,251	0.5		
合 計	309,995	100.0	385,411	100.0	657,920	100.0	674,469	100.0	798,790	100.0

土地の利用状況

年度	区分	総数	田	畑	宅地	山林	池沼	原野	雑種地	その他
昭和44年		22.41	9,740,500	1,564,933	1,219,840	3,436,133	175,625	437,792	100,833	6,087,225
45	"	"	9,640,675	1,560,983	1,230,744	3,466,383	182,683	471,067	109,908	6,090,250
46	"	"	9,485,392	1,539,725	1,385,444	3,615,617	178,650	489,217	101,842	5,964,209
47	"	"	9,265,890	1,274,507	1,441,567	3,935,835	156,257	464,716	334,537	5,536,691
48	"	"	8,811,202	1,114,738	1,641,506	3,417,647	155,463	437,665	1,614,105	5,217,674

建築の状況

年度	区分	総数		住宅		非住宅	
		棟数	建築面積	棟数	建築面積	棟数	建築面積
昭和44年		186	17,371	122	11,018	64	6,353
45		205	16,856	138	11,322	67	5,534
46		162	16,241	124	12,684	38	3,557
47		193	23,780	137	12,806	56	10,974
48		272	28,175	176	15,223	96	12,952

人口

人口の推移

年度	区分	世帯数	人口			一世帯 平均人口	人口密度 1km ² 当り
			計	男	女		
昭和30年		1,848	10,115	4,906	5,209	5.5	451.4
35		1,861	9,505	4,590	4,915	5.1	424.1
40		1,893	8,592	4,106	4,486	4.5	383.4
45		2,234	9,368	4,435	4,933	4.2	418.0
46		2,417	9,513	4,514	4,999	3.9	424.5
47		2,500	9,710	4,610	5,100	3.9	433.3
48		2,607	9,912	4,709	5,203	3.8	442.3

人口動態

年度	区分	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	差引(増)	転入	転出	差引(増)
昭和44年		153	74	79	911	708	203
45		169	75	94	845	719	126
46		150	72	78	828	819	9
47		180	58	122	851	776	75
48		142	79	63	954	815	139

年齢階層別人口

年齢	総数	男	女	年齢	総数	男	女
総数	9,368	4,435	4,933	50~54	457	197	260
0~4	724	361	363	55~59	454	223	231
5~9	677	352	325	60~64	388	181	207
10~14	709	360	349	65~69	294	128	166
15~19	921	449	472	70~74	260	116	144
20~24	973	428	545	75~79	135	58	77
25~29	681	313	368	80~84	89	27	62
30~34	744	365	379	85~89	36	10	26
35~39	654	330	324	90~94	8	1	7
40~44	603	297	306	95~99	3	1	2
45~49	558	238	320	100才以上	0	0	0

経 済

専業別農家数及経営耕地面積

年度	区分	農 家 数 (戸)				耕 地 面 積 (ha)			
		総 数	専 業	第1兼業	第2兼業	総 数	田	畑	樹園地
昭和35年		905	241	278	386	1,011.21	893.82	113.16	42.3
40		812	169	335	308	971.71	886.83	90.70	22.8
45		797	99	281	417	976.50	887.07	86.32	27.6

経営規模別農家数

年度	区分	総 数	0.3ha以下	0.3~0.5ha	0.5~1.0ha	1.0~1.5ha	1.5~2.0ha	2.0~3.0ha	3.0ha以上
昭和35年		905	176	119	179	139	129	146	17
40		812	127	110	167	114	114	154	26
45		797	128	90	169	112	104	141	38

産業別就業人口

年度	区分	総 数	第 1 次 産 業				第 2 次 産 業				第 3 次 産 業					
			農 業	林 業	漁 業	構 成 比	鉱 業	建 設 業	製 造 業	構 成 比	卸 小 売 業	金 融 保 險 業	運 通 信 輸 業	サ ー ビ ス 業	公 務	構 成 比
昭和25年		4,120	1,956	6	3	47.7	554	215	505	30.9	226	13	148	269	225	21.4
30		4,193	2,029	10	1	48.7	361	136	550	25.0	281	22	171	530	102	26.3
35		3,875	1,591	2	0	41.1	307	196	618	28.9	327	18	254	437	125	30.0
40		3,771	1,345	1	0	35.7	10	313	731	28.0	457	52	256	476	130	36.3
45		4,452	1,213	0	1	27.3	10	360	1,061	32.1	618	65	327	614	183	40.6

事業所数従業者数

区分	年度	昭和38年		昭和41年		昭和44年		昭和47年	
		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総 数		187	844	230	1,183	264	1,608	305	2,014
水 産 業		0	0	0	0	0	0	1	2
建 設 業		13	230	15	156	21	183	30	353
製 造 業		16	46	20	249	20	379	42	490
卸 売 小 売 業		94	261	111	340	121	471	143	503
金 融 保 險 業		1	x	2	8	2	10	2	22
不 動 産 業		0	0	3	3	13	25	2	14
運 輸・通 信 業		3	x	8	118	8	150	7	128
電 気・ガ ス・水 道 業		1	4	1	3	2	7	1	3
サ ー ビ ス 業		59	222	70	306	77	383	73	425
公 務								4	74

工場数従業者数出荷額

年度	区分	工場数	従業者数	出荷額
昭和44年		22	377	44,580 万円
45		26	424	67,443
46		25	341	62,465
47		22	357	75,701
48		22	369	88,531

商店数従業者数

年度	区分	商 店 数				従 業 者 数			
		総 数	卸 売	小 売	飲食店	総 数	卸 売	小 売	飲食店
昭和39年		109	5	95	9	307	20	271	16
41		118	10	97	11	352	51	272	29
43		118	6	100	12	301	40	241	20
45		122	8	102	12	403	57	319	27
47		132	5	109	18	414	59	327	28

農地転用

区分 年度	農閑 地係	農係の もの 以外	計	3条関係			4条関係			5条関係			20条関係			諸 証 明	資 金 自 作 農	
				件数	筆数	面積m ²	件数	筆数	面積m ²	件数	筆数	面積m ²	件数	筆数	面積m ²			
昭和46年	2	0	12	14	79	118 畑 18	148,952 14,198	8	3 畑 5	2,615 1,428	56	45 畑 16	33,793 4,755	2	3 畑 2	1,386 3,256 937	133	9,920
47	1	4	16	21	92	150 畑 34	171,640 15,123	12	6 畑 6	8,581 3,491	111	110 畑 75	97,217 357,059	3	3 畑 2		201	9,810
48	6	0	14	20	138	200 畑 44	232,101 16,370	8	5 畑 9	4,391 6,133	98	488 畑 30	513,144 17,130	0			292	9,920

衛生

法定伝染病患者の発生状況

区分 年度	総 数		日本脳炎		赤 痢	
	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡
昭和44年	3	1	1	1	2	0
45	3	1	1	1	2	0
46	1	0	0	0	1	0
47	1	0	0	0	1	0
48	1	0	0	0	1	0

救急車原因別利用状況

区分 年度	出動件数 救急人員	火災	交通	一般負傷	急病	労働災害	過労	水難	自損行為	犯罪	その他	合計
		昭和46年		1	16	2	4					1
47			46	8	38	4	2				1	99
48			56	22	78	6		1	2	1		177
			78	22	73	6		1	2	1		184

教 育

保育所・幼稚園

区分 園名	園 数			職 員 数		
	総 数	3才未満	3才以上	総 数	園長・保母数	その他の職員
山びこ保育園	60	24	36	10	7	3
遠賀川保育園	60	15	45	7	5	2
南 部保育園	80	15	65	7	6	1
遠賀中央幼稚園	120	0	120	6	6	0

小学校

区分 年度	学 校 数	学級数		教員数			児 童 数																				
		単 式	特 殊 学 級	総 数	男	女	総 数			1 学 年			2 学 年			3 学 年			4 学 年			5 学 年			6 学 年		
							総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
昭和44年	2	26	0	34	15	19	829	430	399	118	67	51	146	79	67	139	69	70	121	65	56	184	86	98	121	64	57
45	2	25	1	34	15	19	855	440	415	137	68	69	119	68	51	145	79	66	142	70	72	124	66	58	188	89	99
46	2	24	0	29	14	15	790	409	381	128	66	62	134	67	67	117	65	52	145	77	68	139	68	71	127	66	61
47	2	23	0	27	14	13	798	402	396	125	56	69	134	70	64	130	64	66	122	69	53	149	77	72	138	66	72
48	2	22	0	28	14	14	802	394	408	120	51	69	125	56	70	137	68	69	133	66	67	131	73	58	156	80	76

中学校

区分 年度	学 校 数	学 級 数	教 員 数			生 徒 数											
			総 数	男	女	総 数			1 学 年			2 学 年			3 学 年		
						総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
昭和44年	1	11	22	16	6	447	220	227	125	66	59	155	73	82	167	81	86
45	1	10	21	16	5	402	202	200	120	61	59	130	70	60	152	71	81
46	1	11	20	14	6	441	224	217	186	90	96	122	62	60	133	72	61
47	1	11	21	15	6	446	224	222	134	70	64	187	92	95	125	62	63
48	1	13	22	17	5	467	228	239	138	66	72	137	69	68	192	93	99

福 社

国民年金給付検認状況

年度	区分	被保険者数	検 認 状 況			給 付 状 況					
			対象月数	実施月数	検 認 率	老 令	障 害	母 子	寡 婦	合 計	給 付 金 額
昭和44年		1,998人	19,255月	18,165月	94.6%	人	2人	16人	人	18人	1,087,200円
45		2,101	19,843	19,453	98.3		1	15		16	1,521,600
46		2,048	19,198	18,844	98.6	3	2	15	2	50	3,244,334
47		2,273	22,485	20,617	91.9	5	4	2	1	75	4,795,940
48		2,260	22,306	20,851	93.6	7	6	3	1	97	11,252,242

国民健康保険加入状況

年度	区分	加 入 世 帯		被 保 険 者 数		保 險 税	
		実 数	加 入 率	実 数	加 入 率	税 額	医療費に対する保険料調達割合
昭和44年		988戸	34.4%	3,241人	34.4%	19,054千円	34.6%
45		965	33.0	3,137	32.9	23,958	34.1
46		953	32.0	3,104	31.9	29,170	40.8
47		975	31.9	3,163	31.9	31,577	30.8
48		1,007	31.0	3,127	31.0	37,145	28.1

国民健康保険受診状況

年度	区分	受 診 件 数	受 診 率	費 用 額	1人当り費用額	保 険 者 負 担 額	被 保 険 者 負 担 金
昭和44年		14,591件	4.34	49,688千円	14,792円	34,647千円	14,682千円
45		15,120	4.55	62,542	18,833	43,493	18,650
46		14,623	4.70	60,809	19,528	42,876	18,376
47		15,633	4.92	88,309	27,822	61,920	22,345
48		16,268	5.20	104,885	33,499	73,605	20,758

交通災害共済

新規加入		継続加入		合 計		世帯数	加入率
口 数	加入者数	口 数	加入者数	口 数	加入者数		
184	569	755	2,595	939	3,164	2,811	33%

選 挙

選挙別投票状況

選挙名	投票日	当日有権者数	投票者数	投票率
県知事選挙	S46. 4. 11	6,400	5,649	88.27
県議会議員選挙	S46. 4. 11	6,400	5,648	88.25
町長選挙	S46. 4. 25	6,379	6,013	94.26
町議会議員選挙	S46. 4. 25	6,379	6,013	94.26
参議院地方選挙	S47. 6. 27	6,604	3,827	57.95
衆議院議員総選挙	S47. 12. 10	6,858	5,878	85.71
参議院議員選挙	S49. 7. 7	7,084	5,731	80.90

投票所別有権者数 (S49.9.10現在)

投票区	投票所	登録人員
1	島門小学校	1,523人
2	遠賀町役場	3,067
3	浅木小学校	1,608
4	虫生津公民館	954

水道・道路

道路の状況

道路		町内道路			橋梁		
		実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)	永久橋(m)	木橋(m)	計(m)
総数		162,176	43,339	27.0	1,232	575	1,807
国道		2,410	2,410	100.0	224	0	224
県道		17,034	15,811	93.0	549	85	634
町道		142,732	25,118	18.0	459	490	949

給水人口と給水量

年度	区分	人口	給水人口	普及率	給水量(年間)	1日平均給水量
昭和46年		9,513	7,836	82.3	809,205m ³	2,217m ³
47		9,710	8,923	91.8	867,970	2,378
48		9,912	9,880	99.6	919,800	2,520

自然

月別平均気温

(単位°C)

年度	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
昭和45年		3.9	6.4	5.6	11.8	17.0	19.5	24.6	26.7	23.3	17.6	12.6	7.0	14.7
46		4.0	4.7	7.1	12.3	16.8	20.9	26.5	25.5	21.9	16.1	12.2	7.4	14.6
47		5.9	5.0	7.8	12.9	17.0	20.8	26.0	26.0	21.8	16.2	10.9	5.7	14.7
48		5.1	4.9	7.9	13.9	17.2	20.6	26.5	26.7	20.1	15.6	7.9	4.6	14.3

月別降水量

(単位mm)

年度	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総量
昭和45年		59.7	77.4	36.1	244.1	209.9	358.0	259.8	74.5	191.5	71.6	65.8	30.0	1,678.4
46		115.0	83.7	110.0	56.1	156.6	199.6	366.2	205.0	190.6	62.6	7.9	64.0	1,617.3
47		200.5	148.5	212.0	271.0	197.5	444.5	550.5	458.5	154.5	108.0	196.5	79.0	3,021.0
48		188.5	79.5	27.5	278.5	216.0	292.5	188.5	43.5	140.0	99.0	25.5	39.5	1,618.5

あとがき

町制施行10周年記念誌として、町勢要覧を編集いたしました。内容については、決して十分なものとはいえません。たゞ、日頃本町の発展に深いご関心をもっておられる皆様方に少しでも町のご理解を願うれば幸いに存じております。

編集に当り、写真、資料の提供などご協力いただきましたことに対し厚くお礼申し上げます。

昭和49年11月

'74町勢要覧編集委員会

1974/町勢要覧

おんが

発行 昭和49年11月22日
遠賀町役場

編集 町勢要覧編集委員会

印刷 凸版印刷株式会社



遠賀町